

Google AI 検索プロンプト・チートシート

モダンリサーチメソッド

01. 4大エンジニアリング原則

AI検索はLLMがWebを巡回・合成する仕組みです。「指示の質」が回答を決定します。

・ソースコントロール（物理的縛り）

`site:` や `filetype:` でAIのカンニング先を限定し、ハルシネーション（知ったかぶり）を物理的に防ぐ。

・出力構造化の強制

「教えて」で終わらず、表、MECE、ステップ形式などフォーマットを命令する。

・マルチモーダル活用

スクショ画像や現物の写真にテキスト指示を添え、視覚情報をAIに一発解析させる。

・セッション管理

追加質問時は前の文脈を引き継ぐ。全く別の話題なら検索窓をクリアしてリセットをかける。

02. 運用リスク管理 & 裏技

・YMYL領域と機密情報の壁

ファクトチェック: 医療・法律・金融などはAIを鵜呑みにせず、必ず回答横の「リンクボタン」から一次ソースを目視確認する。

入力禁止: 未公開コード、顧客情報、未発表企画書などを検索窓に直貼りしない。

・あえてAIを「完全停止」させる裏技

生のテキストリンク一覧だけをザクザク見たい局面では、検索結果画面の上部タブメニューから「ウェブ」フィルタを選択。AI概要が完全に非表示になります。

03. 検索コマンド×AI「ハイブリッド・リサーチ」

通常の質問文にコマンドを付与し、ノイズ（アフィリエイト等）を完全に遮断します。

政府機関

`site:go.jp`

効果: 一次情報のみを参照させ、偽情報を排除。

`site:go.jp` [法改正/補助金名]の適用条件と対象企業を、初心者向けに箇条書きで3点に要約して。

大学・論文

`site:ac.jp`

効果: 学術機関の客観的データのみを抽出。

`site:ac.jp` [特定の心理効果/医学的成分]について、学術的な実験データやエビデンスに基づく最新の見解をまとめて。

PDF直読み

`filetype:pdf`

効果: 分厚い公式PDFをDLせず自動スキャン。

`site:go.jp filetype:pdf` [補助金名]から、申請時に絶対に満たすべき要件と必要書類をステップ形式で要約して。

リアルな声

`site:x.com`

効果: PR記事を弾き、「現場の悲鳴」を集約。

`site:x.com` "[ツール名]" 実際の業務で導入したユーザーのリアルな不満点やデメリットを3つ抽出して。

技術特化

`site:github.com`

効果: フォーラムからバグ解決策を一瞬でマージ。

`site:github.com` [エラーコード] 発生原因と、開発者の間で最も確実とされる回避コードを提示して。

04. 高度プロンプト・ハッキング（思考の強制）

・インプット・アンカー（特定URL解析）

以下のURLの内容のみを情報源として、[知りたい項目]についてMECEな階層構造で要約して。他サイトの情報は一切混ぜない。URL: [対象URL]

・逆算型・死角抽出（ブラインドスポット）

[ビジネスモデル/企画]を検討中。市場・競合・技術トレンドを考慮し、この計画が失敗する確率をもっとも高い致命的なボトルネックを3つ厳しく指摘して。

・思考プロセスの外体化（CoT）

[複雑な技術や動向]について、どのような推論ステップを経てその結論に至ったか、裏付けとなるデータソースの傾向と共にステップバイステップで解説して。

・多角視点ペルソナ（マルチパースペクティブ）

[新技術の影響]について、一流の「弁護士」「CTO」「財務責任者」の3つの異なる視点から、それぞれの懸念事項と対策を表で並列にして出力して。

05. 出力フォーマット指定テンプレート

・高密度4軸マトリクス比較表

[サービスA]と[サービスB]の違いについて、「初期コスト」「ランニング費用」「独自機能」「向いている組織規模」の4項目で優劣がひと目でわかる比較表を作成して。

・概念のメタファー（例え話）解説

[難しい専門用語/アルゴリズム]の仕組みを、予備知識ゼロの初心者でも直感的に理解できるよう、身近な[郵便配達の仕事]などに例えて優しく解説して。

・階層構造化・ネスト要約

[テーマ/文章/URL]について、ロジカルシンキングのフレームワークを用いて構造化し、3つの大見出しと、それぞれに紐づく2つの小見出し（インデント形式）で要約して。